

『学び・ナビ』

発行責任者
校長：有賀 真道
学習担当：川野 邊勝也

期末テストを終えて



先週、1学期の期末テストが行われました。現在、各教科で答案用紙が返却され、その結果に一喜一憂しているところだと思います。テストは、学習の定着状況を確認するために行っています。点数の善し悪しで一喜一憂して終わるのではなく、学習の定着状況を確認し、次の一步を踏み出さなくてははいけません。具体的に次の一步とは、以下のような取り組みが挙げられます。

- ① 家庭学習で、間違えた問題、解けなかった問題をもう一度解き直してみる。
→ それでもダメなら、次の日に先生方や友達に質問して解決する。
- ② 自分のミス傾向をつかむ。
→ 家庭学習で「うっかりノート」をつくり、どうして間違えたのか、どういう間違いをしたのか、自分のミス傾向を分析しておく。

①については、テスト前の「寺子屋・清風」で、先生方や友達、さらには後輩が先輩たちに質問するよい雰囲気がありました。テスト前だけでなく、テスト後にも、先生方、友達、先輩に「聞く姿勢」を大事にしてもらえれば、学力向上まちがいなしです！

②については、昨年度も紹介したノートづくりですが、1年生は分からないと思います。下にその例を載せておきましたので参考にしてください。間違えた理由・原因を明らかにし、確認しておくことで、次のテストで同じミスをくり返さないようにすることが、このノートづくりの目的です。

テストの意義を踏まえ、是非、「次の一步」を踏み出しましょう！

自習 (うっかりノート)
期末テスト 国語

② 次の文の語句を語って、あとの問いに答えなさい。

A どの子にも清く風を吹く月かな
B いくつにも雪の集まを尋ねけり
C 赤蜻蛉 筑波に雲もなかりけり
D 赤い袴 白袴と 落ちにけり
E 桐葉 日ざりながら落ちてけり

(3) Bの句について

① 作者(病床にいた正岡子規)には、雪が降っている様子を
見えていたのでしょうか。『見えていた』『見えていない』どちらかを選び、
記号を書きなさい。また、そう考える根拠や理由を書きなさい。

自分の：『見えていた』
解答： 部屋に降る雪の音から外が見えていたから。

間違えた原因
見えた理由は書かれていたが、この句では「雪の集まを尋ねけり」とあるように、作者がどうして雪の深さを尋ねていたのかを根拠として書いていないので、誤得力がなくれている。

(4) Cの句について

① 作者が最も心を動かされたものは何でしょうか。
次から選んで記号を書きなさい。また、そう考える理由を書きなさい。

『赤蜻蛉』 『筑波』 『雲もなかりけり』
自分の：『赤蜻蛉』
解答： 赤蜻蛉、ロー字の「蜻」を使って、強調しているから。

間違えた原因
ロー字の「蜻」を全て使っているからといって、それを強調しているわけではない。それなら、その他の筑波山や雲もロー字を使えば、強調されていることにならぬだろうか。この理由で、誤得力にならぬ。

自習 (うっかりノート)
数学

3 次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 1から6までの目が出る大小2つのさいころを同時に投げ、大きいさいころの出た目の数をA、小さいさいころの出た目の数をBとする。

① $A+B=7$ となる確率を求めなさい。

自分の考え：
 $\frac{2}{30} = \frac{1}{15}$
 $\frac{3}{30} = \frac{1}{10}$
 $\frac{4}{30} = \frac{2}{15}$
 $\frac{5}{30} = \frac{1}{6}$
 $\frac{6}{30} = \frac{1}{5}$

正解：
 $\frac{1}{36} = \frac{1}{36}$
 $\frac{2}{36} = \frac{1}{18}$
 $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$
 $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$
 $\frac{5}{36}$
 $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$

間違えた原因
同じ数は数えないと勘違いして確率を求める。

② $ab=6$ となる確率を求めなさい。

自分の解答：
 $\frac{4}{30} = \frac{2}{15}$
 $\frac{2}{30} = \frac{1}{15}$
 $\frac{1}{36} = \frac{1}{36}$

正解：
 $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$
 $\frac{2}{36} = \frac{1}{18}$
 $\frac{1}{36}$

間違えた原因
①と同じ。→ 問題文の意味をしっかりと理解しよう。

(2) 右の表はある学校の3年1組の生徒40人の通学時間と
度数分布表に整理したもの的一部分である。

② 通学時間10分以上10分未満の階級の相対度数を求めなさい。

自分の解答： $\frac{12}{40}$ 正解： 0.3

間違えた原因
5分以上10分未満の度数を求めた後に、 $12 \div 40 = 0.3$ の計算をやり直した。

